

組付要領書 及び部 品 表

Takakita

自走ブレンドキャスト用
エプロンアタッチ

BSS-EN-2

適応機種 B S - 6 3 2 S S



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記QRコードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**自走ブレンダーキャスタ用エプロンアタッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。
また、ご使用前にはブレンダーキャスタ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

エプロンアタッチの組付け

BSS-EN-2

このたびは、ブレンドキャスト用アタッチメントをお買い上げいただき、ありがとうございます。組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

- ご不明な点や、お気付きの点がございましたらお買い上げの販売店(農協)または当社までご相談ください。
- 開梱されましたら組付前に、本文後ろの部品表の部品が全て含まれているかをご確認のうえ、組付を行ってください。

◆組付け手順

〈BSS-632SS〉(図1参照)

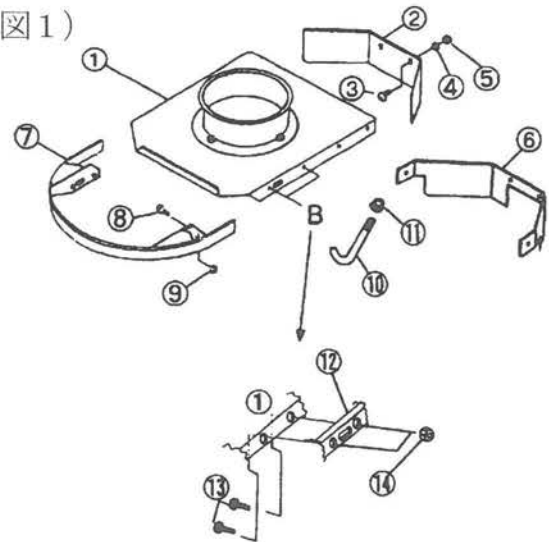
〔1〕スピナーカバーの組付け

- (1) ①シャッターフレームに固定している②スピナーカバーを③トラスコネジ④バネザガネ、⑤ナットを緩めて取外します。
- (2) アタッチに付属の⑥スピナーカバーと組み替え、先ほどの③トラスコネジ、④バネザガネ、⑤ナットで確実に締め付けてください。

〔2〕エプロンフレームの組付け

- (1) ⑦スピナーガードを固定している⑧ボルト、⑨スプリングナット、また、①シャッターフレームを固定している⑩フック、⑪ナイロンナットを緩めて、⑦スピナーガードを取外します。
- (2) ①シャッターフレームのB位置の穴に⑫エプロンフレームの穴を合わせます。その穴に①シャッターフレームの内側から⑬ボルト(アタッチ付属)を通し⑭スプリングナットで左右各2ヶ所を締め付けます。また、①シャッターフレームを固定していた⑩フック、⑪ナイロンナットも元の位置に取付け、締め付けます。

(図1)

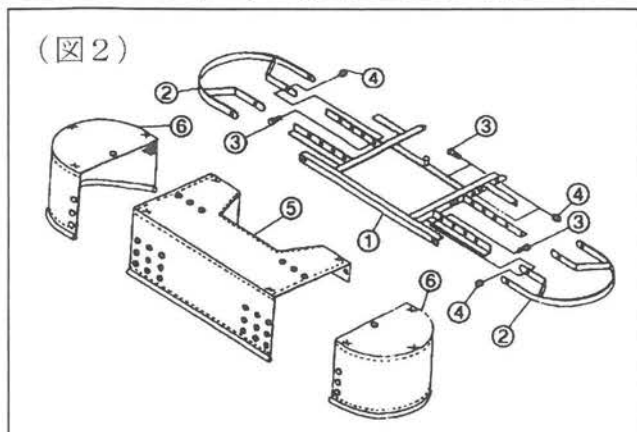


〈共通〉(図2参照)

〔2〕エプロンアタッチの組付け

- (1) ①エプロンフレームに②サイドフレーム右(左)を組付けます。この時、ボルトの固定穴の位置を変えることにより、散布幅を1.2mから1.5mまで調整することができます。
- (2) ①エプロンフレームには、左右各4ヶ所のボルト穴があり、左右の②サイドフレーム右(左)を最も内側に合わせた時1.2m、二つ目が1.3m、三つ目が1.4m、最も外側に合わせた時、最大1.5mの散布幅となります。
- (3) ③ボルトを②サイドフレームの内側から通し、④スプリングナットで①エプロンフレームの外側から確実に締め付けてください。
- (4) ⑤エプロンカバー中央を①エプロンフレームに⑥エプロンカバー左右を②サイドフレームへの順で、それぞれフレームにヒモで固定した後、固定ボタンでエプロンカバーがバタつかないよう固定してください。

(図2)



注意

- 使用前に各部の組付けに誤りがないかを確認してください。
- ボルト、ナットなどが確実に締め付けられているかを必ず確認してください。
- 本アタッチを取外す場合は、標準仕様のスピナーガードおよびスピナーカバーを必ず元の位置に組付けてください。

以上で組付作業が終了します。